

対象地域：群馬県

再生課題：人と沼の絆の創造と再生

た た ら ぬま じょうぬま
多々良沼・城沼自然再生協議会

**再生
目標**

「人と沼の絆の創造と再生」をスローガンに、過去の環境の再生をイメージし、「21世紀にふさわしい沼本来の姿」を目指す。

- 事務局
群馬県県土整備部館林土木事務所
- 対象地域
群馬県館林市、邑楽町
(館林市と邑楽町にまたがる約80haの
多々良沼と館林市の約50haの城沼と
その周辺地域)
- 協議会：H22. 4. 10 設立
- 全体構想：H23. 5. 13 策定
- 実施計画：H26. 1. 26 策定
(R7. 3現在)



本地域の邑楽・館林地域は、低地の湿原が数多く残存し、湖沼やヨシ原等を中心に、地域特有の生態系を維持してきました。

しかし、近年の開発等により、水鳥の飛来種の単純化や、ブラックバスなど外来魚による被害増加、水生植物群落の変化、水質の悪化などが問題となっており、県や市・町、地域の様々な市民団体等は、これらの課題に対応すべく取り組みを進めてきました。

これらの活動を更に促進し、有機的に結びつけ、真に実効性のあるものに進化させるために、協議会を設立し、豊かな自然を保全・再生・創出・維持管理していくためにはどういった取り組みが必要なのかを関係者全員で考え、共に実践していきます。



多々良沼のタラカンガレイ

自然再生の手法

- 沼本来の姿を保全・再生する
- 新たなる人々との関わりを創出する
- 地域に生きる証と誇りを、後世に引き継ぐ



多々良沼のヨシ焼き



城沼のハス群落